

出張緩和ケア研修についてのアンケート集計 < H 21.1.21 (水) >

鶴岡市高齢者福祉センターおおやま 2 階地域交流スペースで職員研修会が行われ、高橋牧郎先生、伊藤陽子看護師、石川知子看護師が講師として対応致しました。アンケートの結果を集約しましたのでご報告いたします。

参加人数 58 名

アンケート協力者 42 名

1. 最初に、あなたのことをお伺いします。

- ◆年齢... 20代(7名) 30代(11名) 40代(11名) 50代(9名) 60代(1名) 無回答(3名)
- ◆性別... ①男性(12名) ②女性(29名) 無回答(1名)
- ◆職種... ①看護師(7名) ②介護員(18名) ③ケアマネージャー(2名) ④ホームヘルパー(1名)
⑤その他(13名) 無回答(1名)
- ◆勤務場所... ①病院(0名) ②訪問看護ステーション(0名) ③施設(28名) ④在宅介護支援センター(3名) ⑤居宅介護支援センター(1名) ⑥その他(5名) 無回答(5名)
- ◆臨床経験年数 ①1年未満(0名) ②1年～5年(2名) ③6年～10年(6名)
④11年～20年(3名) ⑤21年～30年以上(1名) 無回答(30名)
- ◆昨年1年間に関与して亡くなったがん患者さんの数 ①0名(7名) ②1名～5名(6名)
③6名～10名(0名) ④11名～20名(0名) ⑤21名～30名(0名) 無回答(29名)
- ◆現在の勤務場所での経験 ①1年未満(2名) ②1年～5年(33名) ③6年～10年(1名)
④11年～20年(3名) ⑤21年～30年(1名) 無回答(6名)

2. 今回の研修の内容は興味のあるものでしたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 全く興味がなかった(0名) | 2. あまり興味がなかった(0名) | 3. 少し興味があった(8名) |
| 4. 興味があった(23名) | 5. とても興味があった(11名) | 無回答(0名) |

3. 今回の研修の内容は理解できましたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|--------------------|----------------|
| 1. 理解できなかった(0名) | 2. あまり理解できなかった(0名) | 3. 少し理解できた(9名) |
| 4. 理解できた(25名) | 5. とても理解できた(6名) | 無回答(2名) |

4. 今回の教育の内容は緩和ケアをしていく上で役立ちますか。あてはまるものに○をつけて下さい。

- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| 1. 役に立たない(0名) | 2. あまり役に立たない(1名) | 3. 少し役に立つ(5名) |
| 4. 役に立つ(26名) | 5. とても役に立つ(8名) | 無回答(2名) |



5. 時間はどうでしたか。

1. 短かった (0 名) 2. ちょうどよかった (37 名) 3. 長かった (4 名) 無回答 (1 名)

6. 今回の研修は今後の地域連携や顔の見える関係づくりをしていく上で役立ちますか。あてはまるものにつけて下さい。

1. 役に立たない (0 名) 2. あまり役に立たない (1 名) 3. 少し役立つ (14 名)
4. 役に立つ (21 名) 5. とても役立つ (5 名) 無回答 (1 名)

7. 今後、検討すべき内容、方法についての改善点その他、なんでもご意見をお知らせください。

- ◇亡くなりそうな患者の家族へ、事前に他の業務等で席を離れていた時に、亡くなってしまうことがあることを、説明しておくという話は参考になりました。家族の立場から見ると、大切な家族の一人が無くなった時に「なぜそばにいなかったのか？」という見解にどうしてもなってしまうと思われます。
- ◇緩和ケアについて、もっと知らないといけなかったと思いました。
- ◇看取りのことをもっと学び、少しずつ看取りにたいしての不安をなくしていきたい。
- ◇実際、その場に立ち会わないと経験を積めることではないと思います。今後病院でも、実演、シミュレーションの場を設けていただけると、ありがたいと思いました。
- ◇パンフレットを読み上げる方法は、内容的に飽きてくるし短くてもいい。アンケートに答える方法は良いと思う。緩和ケアについて関心のきっかけとなればいい。
- ◇シリーズで実施できたら、また実例も聞けたら良い。
- ◇昨年末に緩和ケア（在宅）の利用者の方へ訪問させていただきました。コミュニケーションはほとんど難しい状態ではありましたが、他職種との連携の大切さを強く感じました。家族を通し、あるいは連絡ノートを通じ日々の状態、変化等、事細かに連絡し合え、初めての経験ではありましたが無事看取りを終え、意義のあるケアだったと感じております。
- ◇医療面の今後学んでいきたい課題です。心をこめたケアを心がけたいと思いました。ありがとうございました。
- ◇医療と福祉の現場では、医療行為が限られており、どこまでしていいのが難しく考えさせられる。医師の指示書はもちろん、医療行為の研修も随時行っていく必要があると思う。
- ◇在宅ではありますが、家族とのコミュニケーションのとり方等勉強になりました。
- ◇生活の場での緩和ケアは、薬で対応できない分より、ケアの質が問われると思います。
- ◇実際に緩和ケアをおこなったケースについて（在宅、施設）事例を聞きたい。また、病院や自宅で亡くなったケースについても。



- ◇資料を読むだけでなく、実際こんなことがあったなど聞きたかった。
- ◇国が緩和ケアをすすめている理由は？
- ◇本日研修した内容をチームでも話し合いこれからのケアに役立てたい。
- ◇在宅をサポートするためのパワー、民間、ボランティア、企業等々はまだまだ不足ですし、啓蒙の後のシステムやバックアップ体制、もしくはその他新規事業としての可能性等、新しい情報がありましたら是非お聞かせ頂きたいと思います。

『第3回出張緩和ケア研修』

日 時：H21.1.21（水）午後4時～5時30分

場 所：鶴岡市高齢者福祉施設おおやま
庄内プロジェクト事務局

